

名護バスターミナル利用者 アクセス・イグレス調査

令和6年3月28日
名護市

12月17日（日）および20日（水）の平休1日づつ 4つの主要バス停を乗降する利用者にヒアリング調査を実施し、312件の回答を得た

主要バス停乗降者ヒアリング調査の概要

調査概要

調査目的	現名護バスターミナル及び高速バスの利用状況や課題の把握
調査対象	下記バス停を利用する 名護市民、県民、県外民（観光・ビジネス）
調査バス停	右記の通り、 名護市内における高速バスが停車するバス停
方法	各バス停における利用者へ調査員がアンケート項目に従ってヒアリングを実施。 急いでいる乗降者には回答用QRコードを渡してWebアンケートへ誘導した
実施日数	平日1日・休日1日
実施時期	12月17日（休日）、12月20日（平日）
結果	312人件

調査バス停



利用路線

高速バス

路線バス

コミュニティバス

調査バス停

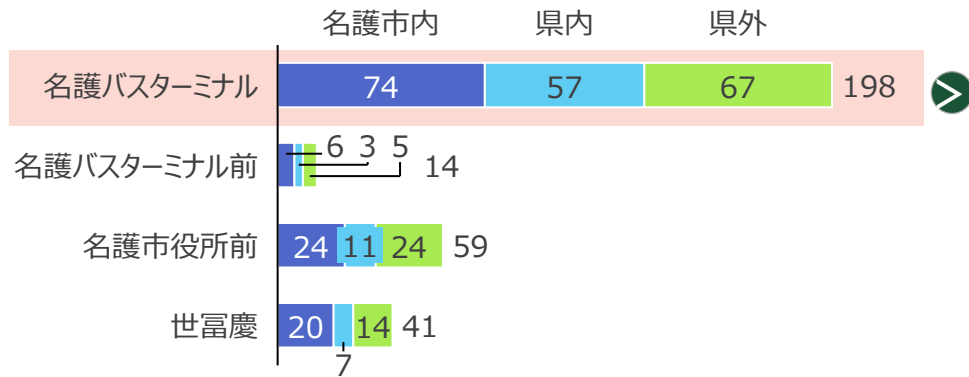
- ① 名護バスターミナル
- ② 名護バスターミナル前
- ③ 名護市役所前
- ④ 世富慶
- ① 名護バスターミナル
- ① 名護バスターミナル

名護バスターミナルでの回答者数が全体の63%を占め、最も多い。
 名護バスターミナルの利用目的をみると、観光が最も多く、次いで私用、通学、通勤となっている

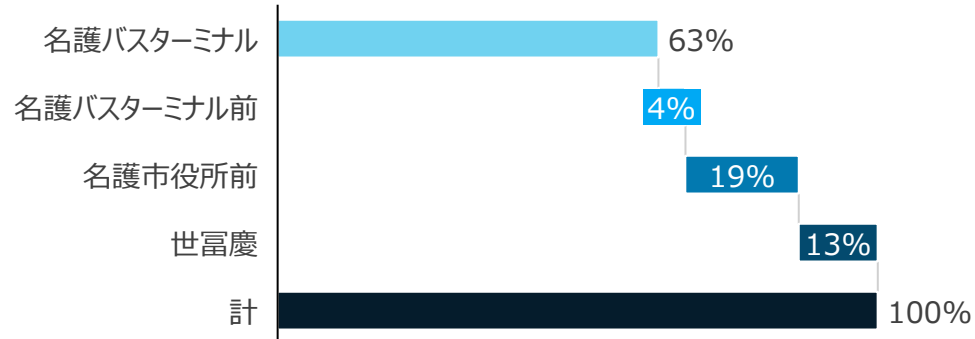
バス停利用者の動向

ヒアリング回答者数

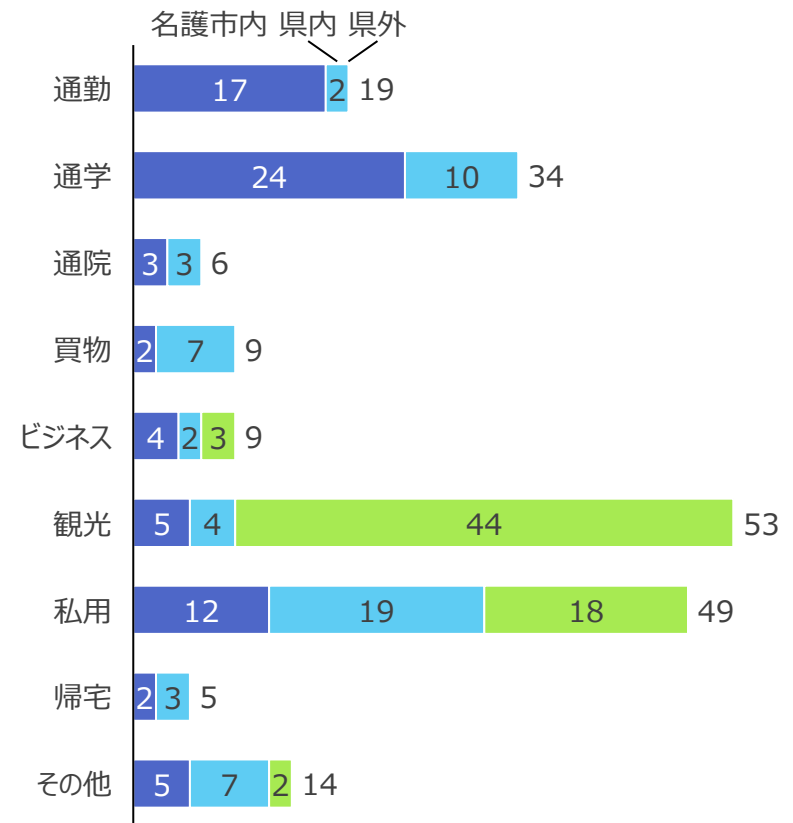
バス停別回答者居住地



回答者のバス停別割合



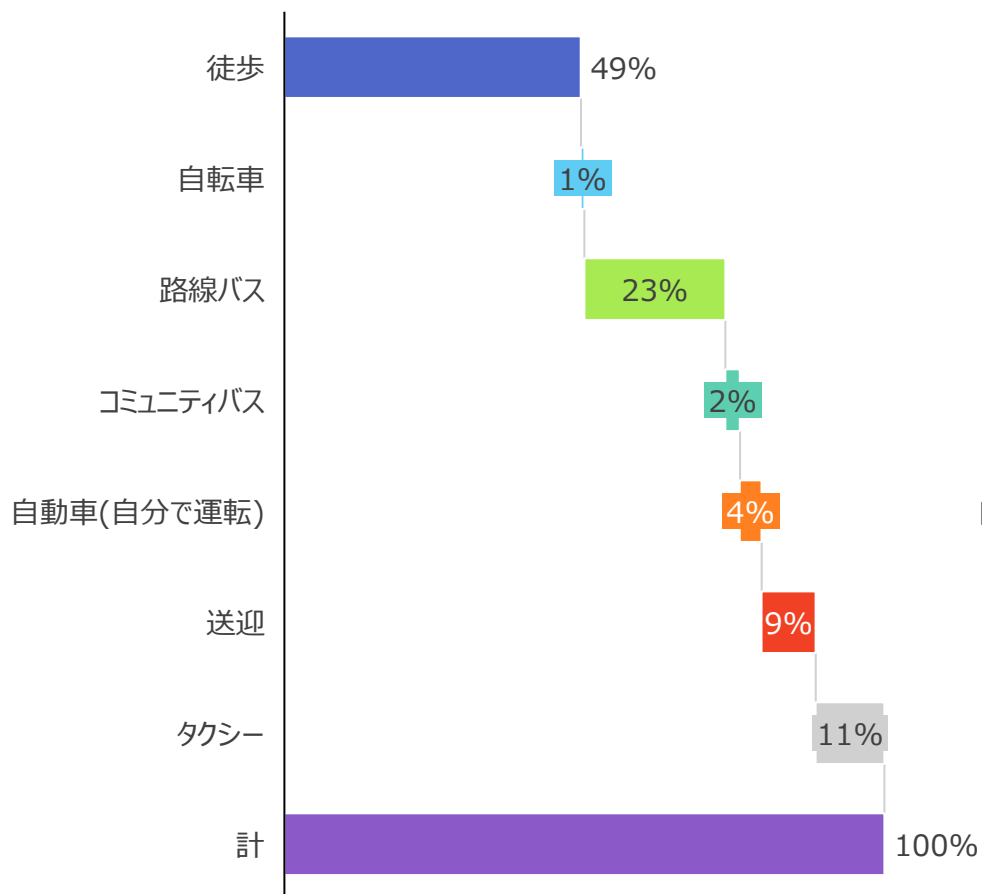
名護バスターミナル利用者の利用目的



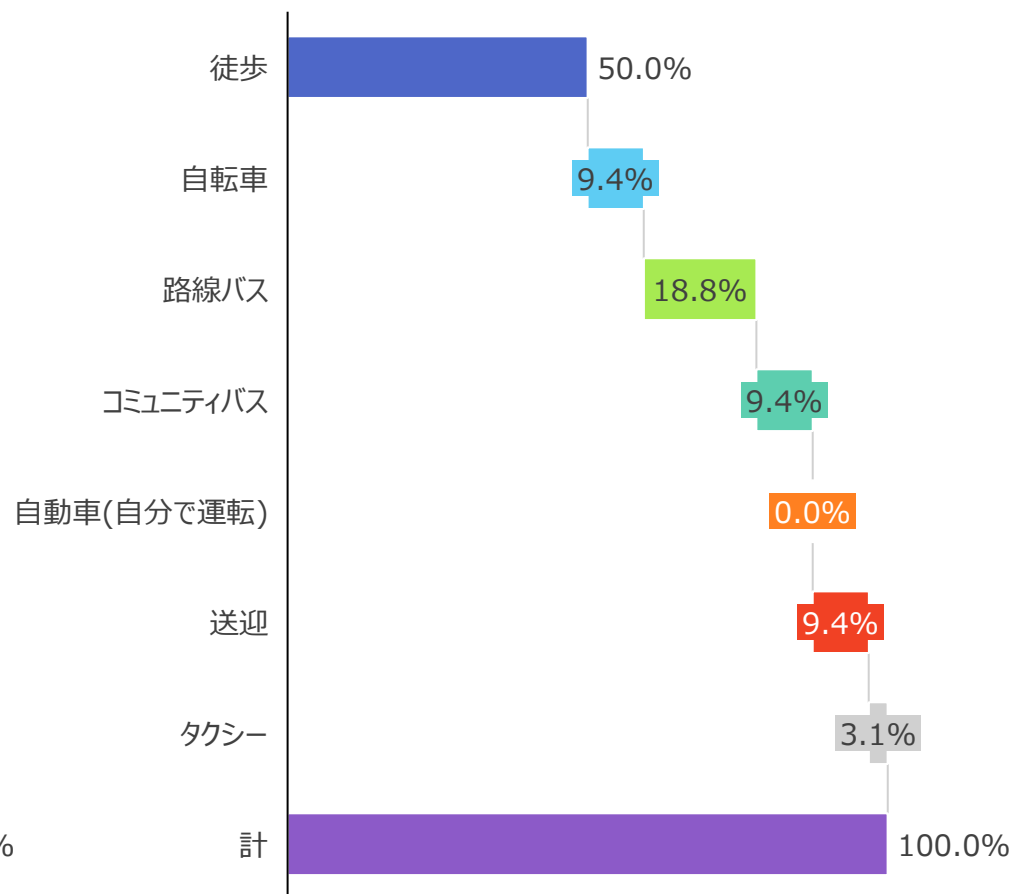
名護バスターミナル利用者のアクセス手段は徒歩が最も多く49%を占め、次いで路線バスが23%、タクシーが11%となっている。イグレス手段は徒歩が最も多く50%を占め、次いで路線バスが18.8%となっており、どちらもコミュニティバスの利用も見られる

名護バスターミナル乗車客（高速バス、路線バス、コミュニティバスすべて含む）の利用バス停

名護バスターミナルへのアクセス手段（n=166）



名護バスターミナルからのイグレス手段（n=32）



名護バスターミナルにバスで来るために乗車したバス停や名護バスターミナルからバスで向かった先の降車バス停をみても、コミュニティバスと路線バスの重複区間におけるバス停の利用はなかった

名護バスターミナル乗車客（高速バス、路線バス、コミュニティバスすべて含む）の利用バス停

名護バスターミナルにバスで来るために乗車したバス停

バス停名	人数
記念館前	3
県立医療センター前	3
大北	3
那覇バスターミナル	3
本部	3
安里	2
国頭村のバス停	2
那覇空港	2
辺士名	2
イオン名護店	1
おもろまち1丁目	1
かりゆしビーチ	1
伊江島	1
伊差川	1
伊武部	1
恩納村	1
喜如嘉（大宜味）	1

バス停名	人数
根路銘	1
謝狩入口バス停	1
大謝名	1
大東	1
池武当	1
仲宗根（今帰仁）	1
浜バス停	1
辺野古	1
万座毛の近くバス停	1
計	40

名護バスターミナルからバスで向かった先の降車バス停

バス停名	人数
記念公園前	4
那覇空港	4
美浜	4
美ら海	3
アメリカンビレッジ	2
大北	2
辺士名	2
本部（大浜）	2
本部港	2
伊差川	1
伊武部	1
宇地泊（那覇）	1
奥間ビーチ	1
今帰仁城跡	1
勢理客	1
大宜味	1
大宮	1

バス停名	人数
大東	1
那覇バスターミナル	1
饒平名	1
計	36

名護バスターミナルで降車した方が乗り継いで向かった降車先のバス停や名護バスターミナルに来るために乗車したバスの乗車バス停をみると、名護十字路バス停利用者が1名のみであった

名護バスターミナル降車客（高速バス、路線バス、コミュニティバスすべて含む）の利用バス停

名護バスターミナルで降車した方が乗り継いで向かった降車先のバス停

バス停名	人数
イオン名護	3
記念公園前	1
世富慶、伊差川向け	1
美ら海水族館前	1
豊原入口	1
計	7

名護バスターミナルに来るために乗車したバスの乗車バス停

バス停名	人数
那覇バスターミナル	3
イオン名護	2
親川入口	2
世富慶	2
名護城入口	2
B & G 海洋センター	1
伊武部	1
冲高東	1
那覇空港	1
大宜味塩屋	1
大北	1
池武当	1
那覇	1
美ら海	1
辺土名	1
豊原入口	1

バス停名	人数
本部	1
名護市民会館	1
名護十字路	1
湧川、がぶい	1
琉大	1
計	27